

5 富士山からの挑戦状

「富士山の日」を契機に、子どもたちの富士山への親しみや興味を喚起し、富士山を大切に育てることを目的とした学習リーフレット「富士山からの挑戦状」を、今年度も作成しました。

昨年度に比べて、ページ数を増やしたことで、詳しい解説付きのクイズも7問から9問に増えました。また、イラストや写真の枚数も増やしましたので、より、視覚に訴える、わかりやすいものになったと思います。

0.2 の答えは 富士山は活火山

富士山は今でも噴火する可能性のある活火山だ。でも、そんなに怖がらなくてもいいよ。噴火するときには前兆現象があって予測がつくものらしい。約300年前の宝永4年（1707年）に大きな噴火があった。その頃は予知できなかったの、江戸（現在の東京）の市民は突然の噴煙や溶岩にびっくり。偏西風（上空5km～10kmで西から東に吹く風）に乗って火山灰が東側へ広がり、日中でも空が真っ暗になったので、この世の終わりかと恐れおののいたらしい。頂上の火口から東にずれた標高2,500m付近で平らに見える場所が、その時にできた宝永火口だよ。

宝永火口ができたけど、富士山は末広がりのすそ野で、全体としてどっしりと安定感のある美しい姿だね。このバランスのとれた形の秘密は、富士山が火山であることに関係しているよ。

▲宝永火口と宝永山 ▲スコリア ▲火実験（スコリアが噴き出している様子）

県内の国立、公立、私立の小学校及び特別支援学校小学部の全ての六年生に配布しましたが、予備がありますので、御希望の方は、ふじさんネットワーク事務局までご連絡ください。大人の方にも「わかりやすい」と大好評ですよ！

詳しくはHPをご覧ください。

【電話】 054-221-2963 【Eメール】 3776fuji@pref.shizuoka.jp
 【HP】 <http://www.fujisan-net.gr.jp/topics/201402leaf.htm>